

災害時相互応援協定を締結



▲固い握手を交わし今後の交流・連携を誓う



▲協定を締結した両郡町村長の皆さん

1月30日、町は「災害時における相互応援に関する協定」を南会津郡3町村と西白河郡4町村（矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村）および新潟県三条市とそれぞれ締結しました。

南会津郡、西白河郡の郡同士での協定締結は県内初で災害時に人員や物資の支援を行うほか、協議会を設置し、毎年定例会を開き情報交換や訓練を行う予定です。

また、三条市と只見町は国道289号関連事業ですでに様々な交流を図っておりますが、災害対応での連携もしようという考えから南会津郡4町村と三条市が生活必需品の提供や住民の避難受け入れなどを盛り込んだ協定を締結しました。

この協定を契機に国道289号の早期開通やさらなる交流が図られることが期待されます。

平成25年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞



▲塚田主査が作成された「事務だより」



▲2月4日町長へ受賞報告に来て頂きました

今年度の文部科学大臣優秀教職員表彰を朝日小学校の塚田玉江主査が受賞されました。

塚田主査は、事務職員として通常業務のほか朝日小学校の経営にも携わられ「事務だより」を発行し、子供たちに物を大切に使うことや節約することについて教えたり、保護者の方には学校の予算がどのように使われているのかを分かるようにしました。

また、児童や保護者の方からの意見をしっかりと聞き必要な物品の購入や校舎の修繕などを行うほか、保護者の負担を軽減するため学級費などを効果的に使い会費を返金するなどの取り組みもされました。

塚田主査には町や学校、子供たちや保護者の方のために本当に様々な事に取組んでいたからこそ、事が今回評価され優秀教職員として表彰されました。

これから健康な食事を 只見高校生へレシピブック

1月30日、只見高校3年生へ自分自身で食事作りをするためのレシピブックを配布しました。これは只見町を出て、新しい生活を始める生徒が、3食きちんと食べ、健康的な生活が送れるように只見町食生活改善推進委員で応援したいという思いから行われたものです。



▲このレシピでぜひ健康的な料理を作って下さい

慢性腎臓病の予防法を知る 湯ら里で医療講演会

2月12日、季の里湯ら里で「慢性腎臓病の予防と進行を食い止める方法について」朝日診療所所長の星野弘尊先生が講師となり医療講演会を開催し、約60名の方が参加されました。

星野所長はどうすれば腎臓病を予防できるのかを分かりやすく話され、参加者は自分の生活を振り返りながら熱心に話を聞いているようでした。



▲学んだ予防法はぜひ実践して欲しいと思います

只見線復興復旧基金へ サントリー福島支店 雪まつり売上金を寄附

2月28日サントリーピア&スピリッツ福島の渡部支店長が役場を訪れ雪まつり会場に出展したブースの売上金を只見線復旧の為に寄附して頂きました。雪まつり実行委員会はそこに雪まつり会場での募金を加えた十万六千六百六十五円を「福島県只見線復旧復興基金」へ寄附する事とし、寄附贈呈式を同日行い、目黒町長と渡部支店長から佐藤南会津地方振興局長へ寄附金を手渡しました。



▲右から目黒町長、佐藤南会津地方振興局長、渡部支店長

平成26年度から 町の組織体制が変わります

2月28日に開催された2月会議で、町の課設置条例の一部改正が可決されました。

このことにより新年度から現在の5課から総務課、総合政策課、町民生活課、保健福祉課、農林振興課、観光商工課、環境整備課の7課体制となります。

また、町地区センター条例の一部も改正され、4月から地区センターは名称が「町振興センター」となり、地域づくりの拠点として住民と行政が協働しより住みよい町をつくるための業務を行います。

詳しくは、次号以降の広報ただみでお知らせします。